令和８年度

幼稚園だより　１１月号



文京区立千駄木幼稚園

大好きが いっぱいの幼稚園

園長　篠澤　恵理

年長組は、先日の遊園地遠足を経験してから、「幼稚園にも遊園地を作りたい！」という思いを膨らませて準備を重ね、この度「やまそらゆうえんち」をオープンしました。子どもたちがやってみたいことを相談して決めていく過程には、自分の思いを伝えることや、友達の考えを聞くことなど、ワクワク感だけでなく、友達と考えを合わせていく中での葛藤もありました。話し合いを進めていくうちに、「ふわふわドーム」と、「ポニーと遊ぼう」は、「一緒にできるのでは？」などと、異なる意見を取り入れる方法を考えたり、折り合いを付けたりするようになっていきました。他にも、「うさぎジェットコースター」「おばけやしき」「火を消せ！ウォーターシューティング」など、子どもたちの大好きなことを取り入れた遊園地は、年少組や年中組にも大人気でした。実際に客を迎えてみて、係の動き方を再考することもありました。人の動きに合わせながら、必要な言葉を考えたり、時には機転を利かせて動いたりしたことは、子どもたちの大きな成長を感じる場面となりました。

毎日の振り返りの時間に、互いの進捗状況を報告すると、他のグループの情報も取り入れたり、さらに手を加えたりすることもありました。頭の中で思い巡らせて、なかなか言葉にならないこともありますが、「こうしたい」という思いを問い直す「自分との対話」を繰り返すことで、思いが考えとなり、考えたことが言葉や形になっていく喜びを感じることにつながりました。話すことや聞くことの積み重ねは、子どもたちが、順序だてて物事を考えたり、予想を立てて動いたりする機会にもなり、とても貴重な時間でした。

これまで経験したことを生かしながら、自分で考えたことや決めたことが形になる営みでは、小学校以降の教育へとつながる資質・能力のひとつである「思考力・判断力・表現力等の基礎」が芽生えていると言えます。遊園地の客として参加した年少組や年中組の心にも、楽しい体験として心に残り、いつの日か、自分の遊びに取り入れる機会が巡ってくることと思います。今後も、大好きなことがいっぱいの幼稚園となるように、千駄木幼稚園が半世紀を経て大切にしてきた、遊びを通して学ぶ教育内容を計画してまいります。



【ポニーと遊ぼう】

11 月 27 日には、本園の開園 50 周年記念式典を挙行いたします。50 周年のテーマである「温かな心をつなぐ　笑顔をつなぐ　大好きがいっぱいの幼稚園」を心に留め、これまで、千駄木幼稚園のためにご尽力いただいた皆様への感謝の気持ちを込めながら、式典の中で子どもたちの大好きな歌を取り入れ、笑顔いっぱいにお届けできるように準備しています。保護者の皆様も、親子製作や親子フラワーアレンジを通して、子どもと共に創る園生活を楽しんでいただければ幸いです。